

## 施策体系(案)

### ■現行計画の体系

分野別の目標	基本的な方向
1 スポーツのきっかけづくり	(1) スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備
	(2) スポーツへ参加する機会の提供
2 スポーツを楽しむ環境づくり	(1) スポーツ施設の整備・充実
	(2) 既存施設等の利活用
	(3) 多様なニーズに対応するプログラムの提供
	(4) スポーツを通じた地域交流の活性化
3 スポーツ観戦の魅力向上	(1) プロスポーツ等団体との連携・協力
	(2) スポーツ観戦機会の拡充
4 スポーツ指導者の育成	(1) スポーツ指導者等の育成と確保
	(2) スポーツ指導者の技術等の強化

### ■新しい体系における課題認識(案)

分類	概要
スポーツをする	より多くの方が、頻繁にスポーツを楽しむようになる
	子どもがスポーツ・運動に取り組めるようになる
	土地に関わらない、文京区らしいスポーツ(種目)の開発 障害者のスポーツ環境・機会を整える
スポーツ観戦	スポーツ観戦を気軽にできるきっかけ・仕組みをつくる
スポーツボランティア、指導者、施設	指導員・サポーターの門戸・関わり方を広げる
	既存施設を活用したスポーツ環境の確保
交流	スポーツを通じた交流、仲間づくり
共通	する・観る・支える全般にわたる分かりやすい情報発信

### ■新しい体系(案)

分野別の目標／基本的な方向	分科会での主なご意見
1. いつでも、どこでも、誰でも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進	
(1) スポーツを楽しむ人を増やす	・女性がスポーツをする環境があまりない ・まちなかで身体を動かす機会があるとよい
(2) 多様なニーズに対応するプログラムの提供	・働き盛り・子育て世代で「スポーツをしたくてもできない」人が多い ・文京区独自のスポーツに関わる取組みがあるとよい
(3) スポーツを共に楽しむ意識の醸成	・パラリンピックの種目などを皆で一緒に楽しめる ・区が目玉となるスポーツを決めて、区全体で盛り上げられるとよい
(4) 障害者スポーツの意識啓発	※2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催 ※東京都障害者スポーツ振興計画
2. スポーツを身近に感じる機会の拡充	
(1) スポーツの楽しさを知る機会の創出	・イベントなどのスポーツに触れるきっかけは多くある。 ・気軽に遊びながら楽しめるということを知ることが大事である
(2) スポーツ観戦機会の拡充	・複数の競技の観戦チケットを区民向けに割引でパッケージできるとよい ・トップアスリート以外のスポーツの観戦を身近にできるとよい
(3) プロスポーツ等団体との連携・協力	・プロ競技の観戦の区民優待が充実するとよい ・プロが使用する施設を稼働が少ない時間に区民が活用できるとよい
3. スポーツ活動をささえる環境の整備	
(1) 気軽にスポーツを楽しめる環境の整備	・既存の施設の有効活用を考えられるとよい ・文京区以外の施設や民間フィットネスクラブと連携・協力できるとよい
(2) スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化	・スポーツ指導員をもっと活用すべき ・指導者の特性をふまえた適切な人材活用を考える必要があるのではないか
(3) スポーツボランティア等の活動支援	・競技指導のほかコミュニティプログラムなど、1つのテーマに着目した取組みを考えてもよいかもしれない
(4) スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備	・情報を集約し、発信し続けることが大事である ・世代ごとにメディアを使い分けた広報が重要である
4. スポーツを通じた仲間づくりと交流	
(1) スポーツを通じた仲間づくり	・様々な世代の区民がスポーツを通じて交流できるとよい ・スポーツの講座のOB・OGのコミュニティができるとよい
(2) スポーツを通じた交流	・都市間対抗戦等を通じた交流によって地域を盛り上げられるとよい ・文京区内に限らず、他の地域でもスポーツを楽しめるとよい

○「する」「みる」「ささえる」に加えて「仲間づくり」について分類を加えました。

理由:スポーツを通じた仲間づくりが区民の豊かな生活において重要だという議論があったと考えているからです。

○現行計画の「2-(1) スポーツ施設の整備・充実」と「2-(2) 既存施設等の利活用」は新しい体系(案)では「3. スポーツ活動をささえる」という目標の「(1) スポーツ施設の整備・充実、活用」にて基本的な方向性のレベルで1つにまとめて配置しています。

○現行計画の「4-(1)スポーツ指導者等の育成と確保」と「4-(2)スポーツ指導者の技術等の強化」は新しい体系(案)では「3. スポーツ活動をささえる」という目標の「(2) スポーツ指導者等の育成と確保」にて基本的な方向性のレベルで1つにまとめて配置しています。

○情報発信に関する取組みは、「3. スポーツ活動をささえる」にて基本的な方向性のレベルで配置しています。講座や情報提供は、事業レベルでも掲載します。